

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q001

☐ ×

標準管理委託契約書の性質

次の記述は正しいか。
マンション標準管理委託契約書は、管理組合と管理会社が管理委託契約を締結する際の参考となる標準的な契約書である。

選択肢

☐

×

答え・解説

正答：○

解説：標準管理委託契約書はモデルであり、個別契約では管理組合の実情に応じた確認が必要である。

要点：国土交通省・標準管理委託契約書

Q002

☐ ×

標準管理委託契約書の性質

次の記述は正しいか。
マンション標準管理委託契約書は、すべての管理会社に例外なく一字一句そのまま強制される行政処分である。

選択肢

☐

×

答え・解説

正答：×

解説：標準管理委託契約書はモデルであり、個別契約では管理組合の実情に応じた確認が必要である。

要点：国土交通省・標準管理委託契約書

Q003

2択

標準管理委託契約書の性質

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. マンション標準管理委託契約書は、すべての管理会社に例外なく一字一句そのまま強制される行政処分である。
2. マンション標準管理委託契約書は、管理組合と管理会社が管理委託契約を締結する際の参考となる標準的な契約書である。

答え・解説

正答：マンション標準管理委託契約書は、管理組合と管理会社が管理委託契約を締結する際の参考となる標準的な契約書である。

解説：標準管理委託契約書はモデルであり、個別契約では管理組合の実情に応じた確認が必要である。

要点：国土交通省・標準管理委託契約書

Q004

4択

標準管理委託契約書の性質

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. マンション標準管理委託契約書は、すべての管理会社に例外なく一字一句そのまま強制される行政処分である。
- B. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。
- C. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。
- D. マンション標準管理委託契約書は、管理組合と管理会社が管理委託契約を締結する際の参考となる標準的な契約書である。

答え・解説

正答：D. マンション標準管理委託契約書は、管理組合と管理会社が管理委託契約を締結する際の参考となる標準的な契約書である。

解説：標準管理委託契約書はモデルであり、個別契約では管理組合の実情に応じた確認が必要である。

要点：国土交通省・標準管理委託契約書

Q005

4択

標準管理委託契約書の性質

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 建物設備管理業務では、共用設備の点検、保守、法定点検への対応などが契約内容として問題となる。
- B. 管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理業者である。
- C. マンション標準管理委託契約書は、すべての管理会社に例外なく一字一句そのまま強制される行政処分である。
- D. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。

答え・解説

正答：C. マンション標準管理委託契約書は、すべての管理会社に例外なく一字一句そのまま強制される行政処分である。

解説：標準管理委託契約書はモデルであり、個別契約では管理組合の実情に応じた確認が必要である。

要点：国土交通省・標準管理委託契約書

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q006

☐ ×

標準管理委託契約書の性質

基礎確認：次の説明は適切か。
マンション標準管理委託契約書は、管理組合と管理会社が管理委託契約を締結する際の参考となる標準的な契約書である。

選択肢

☐

×

答え・解説

正答：○

解説：標準管理委託契約書はモデルであり、個別契約では管理組合の実情に応じた確認が必要である。

要点：国土交通省・標準管理委託契約書

Q007

☐ ×

標準管理委託契約書の性質

基礎確認：次の説明は適切か。
マンション標準管理委託契約書は、すべての管理会社に例外なく一字一句そのまま強制される行政処分である。

選択肢

☐

×

答え・解説

正答：×

解説：標準管理委託契約書はモデルであり、個別契約では管理組合の実情に応じた確認が必要である。

要点：国土交通省・標準管理委託契約書

Q008

2択

標準管理委託契約書の性質

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. マンション標準管理委託契約書は、管理組合と管理会社が管理委託契約を締結する際の参考となる標準的な契約書である。
2. マンション標準管理委託契約書は、すべての管理会社に例外なく一字一句そのまま強制される行政処分である。

答え・解説

正答：マンション標準管理委託契約書は、すべての管理会社に例外なく一字一句そのまま強制される行政処分である。

解説：標準管理委託契約書はモデルであり、個別契約では管理組合の実情に応じた確認が必要である。

要点：国土交通省・標準管理委託契約書

Q009

4択

標準管理委託契約書の性質

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。
- B. 管理委託契約は消防署と賃借人だけの契約である。
- C. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。
- D. マンション標準管理委託契約書は、管理組合と管理会社が管理委託契約を締結する際の参考となる標準的な契約書である。

答え・解説

正答：D. マンション標準管理委託契約書は、管理組合と管理会社が管理委託契約を締結する際の参考となる標準的な契約書である。

解説：標準管理委託契約書はモデルであり、個別契約では管理組合の実情に応じた確認が必要である。

要点：国土交通省・標準管理委託契約書

Q010

4択

標準管理委託契約書の性質

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。
- B. 管理会社は、受託した管理事務を善良な管理者の注意をもって処理することが求められる。
- C. マンション標準管理委託契約書は、すべての管理会社に例外なく一字一句そのまま強制される行政処分である。
- D. 建物設備管理業務では、共用設備の点検、保守、法定点検への対応などが契約内容として問題となる。

答え・解説

正答：C. マンション標準管理委託契約書は、すべての管理会社に例外なく一字一句そのまま強制される行政処分である。

解説：標準管理委託契約書はモデルであり、個別契約では管理組合の実情に応じた確認が必要である。

要点：国土交通省・標準管理委託契約書

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q011

○×

契約当事者

次の記述は正しいか。
管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理業者である。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○

解説：管理組合が管理事務をマンション管理業者へ委託する契約である点を押さえる。

要点：標準管理委託契約書・当事者

Q012

○×

契約当事者

次の記述は正しいか。
管理委託契約の当事者は、常に各賃借人と消防署だけである。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×

解説：管理組合が管理事務をマンション管理業者へ委託する契約である点を押さえる。

要点：標準管理委託契約書・当事者

Q013

2択

契約当事者

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 管理委託契約の当事者は、常に各賃借人と消防署だけである。
2. 管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理業者である。

答え・解説

正答：管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理業者である。

解説：管理組合が管理事務をマンション管理業者へ委託する契約である点を押さえる。

要点：標準管理委託契約書・当事者

Q014

4択

契約当事者

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 管理委託契約の当事者は、常に各賃借人と消防署だけである。
- B. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。
- C. 管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理業者である。
- D. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。

答え・解説

正答：C. 管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理業者である。

解説：管理組合が管理事務をマンション管理業者へ委託する契約である点を押さえる。

要点：標準管理委託契約書・当事者

Q015

4択

契約当事者

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。
- B. 管理会社は、受託した管理事務を善良な管理者の注意をもって処理することが求められる。
- C. 管理委託契約の当事者は、常に各賃借人と消防署だけである。
- D. 建物設備管理業務では、共用設備の点検、保守、法定点検への対応などが契約内容として問題となる。

答え・解説

正答：C. 管理委託契約の当事者は、常に各賃借人と消防署だけである。

解説：管理組合が管理事務をマンション管理業者へ委託する契約である点を押さえる。

要点：標準管理委託契約書・当事者

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q016

○×

契約当事者

基礎確認：次の説明は適切か。
管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理業者である。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○

解説：管理組合が管理事務をマンション管理業者へ委託する契約である点を押さえる。

要点：標準管理委託契約書・当事者

Q017

○×

契約当事者

基礎確認：次の説明は適切か。
管理委託契約の当事者は、常に各賃借人と消防署だけである。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×

解説：管理組合が管理事務をマンション管理業者へ委託する契約である点を押さえる。

要点：標準管理委託契約書・当事者

Q018

2択

契約当事者

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 管理委託契約の当事者は、常に各賃借人と消防署だけである。
2. 管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理業者である。

答え・解説

正答：管理委託契約の当事者は、常に各賃借人と消防署だけである。

解説：管理組合が管理事務をマンション管理業者へ委託する契約である点を押さえる。

要点：標準管理委託契約書・当事者

Q019

4択

契約当事者

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。
- B. 管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理業者である。
- C. 管理委託契約は消防署と賃借人だけの契約である。
- D. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。

答え・解説

正答：B. 管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理業者である。

解説：管理組合が管理事務をマンション管理業者へ委託する契約である点を押さえる。

要点：標準管理委託契約書・当事者

Q020

4択

契約当事者

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 管理委託契約の当事者は、常に各賃借人と消防署だけである。
- B. マンション標準管理委託契約書は、管理組合と管理会社が管理委託契約を締結する際の参考となる標準的な契約書である。
- C. 管理会社は、委託業務の処理状況について、契約や法令に基づき管理組合へ報告することが求められる。
- D. 建物設備管理業務では、共用設備の点検、保守、法定点検への対応などが契約内容として問題となる。

答え・解説

正答：A. 管理委託契約の当事者は、常に各賃借人と消防署だけである。

解説：管理組合が管理事務をマンション管理業者へ委託する契約である点を押さえる。

要点：標準管理委託契約書・当事者

Q021

☐◯☒×

委託業務の範囲

次の記述は正しいか。
管理委託契約では、委託する業務の範囲を明確に定めることが重要である。

選択肢

☐◯
☒×

答え・解説

正答：◯
解説：管理事務、管理員業務、清掃業務、建物設備管理業務など、契約範囲の明確化が紛争予防につながる。
要点：標準管理委託契約書・業務範囲

Q022

☐◯☒×

委託業務の範囲

次の記述は正しいか。
管理委託契約では、委託業務の範囲を一切定めてはならない。

選択肢

☐◯
☒×

答え・解説

正答：×

解説：管理事務、管理員業務、清掃業務、建物設備管理業務など、契約範囲の明確化が紛争予防につながる。
要点：標準管理委託契約書・業務範囲

Q023

2択

委託業務の範囲

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 管理委託契約では、委託業務の範囲を一切定めてはならない。
2. 管理委託契約では、委託する業務の範囲を明確に定めることが重要である。

答え・解説

正答：管理委託契約では、委託する業務の範囲を明確に定めることが重要である。
解説：管理事務、管理員業務、清掃業務、建物設備管理業務など、契約範囲の明確化が紛争予防につながる。
要点：標準管理委託契約書・業務範囲

Q024

4択

委託業務の範囲

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

A. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。
B. 管理委託契約では、委託業務の範囲を一切定めてはならない。
C. 管理委託契約では、委託する業務の範囲を明確に定めることが重要である。
D. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。

答え・解説

正答：C. 管理委託契約では、委託する業務の範囲を明確に定めることが重要である。
解説：管理事務、管理員業務、清掃業務、建物設備管理業務など、契約範囲の明確化が紛争予防につながる。
要点：標準管理委託契約書・業務範囲

Q025

4択

委託業務の範囲

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

A. 管理委託契約では、委託業務の範囲を一切定めてはならない。
B. 漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。
C. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。
D. 管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理者である。

答え・解説

正答：A. 管理委託契約では、委託業務の範囲を一切定めてはならない。
解説：管理事務、管理員業務、清掃業務、建物設備管理業務など、契約範囲の明確化が紛争予防につながる。
要点：標準管理委託契約書・業務範囲

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q026

☐ ×

委託業務の範囲

基礎確認：次の説明は適切か。
管理委託契約では、委託する業務の範囲を明確に定めることが重要である。

選択肢

☐
☒

答え・解説

正答：○

解説：管理事務、管理員業務、清掃業務、建物設備管理業務など、契約範囲の明確化が紛争予防につながる。

要点：標準管理委託契約書・業務範囲

Q027

☐ ×

委託業務の範囲

基礎確認：次の説明は適切か。
管理委託契約では、委託業務の範囲を一切定めてはならない。

選択肢

☐
☒

答え・解説

正答：×

解説：管理事務、管理員業務、清掃業務、建物設備管理業務など、契約範囲の明確化が紛争予防につながる。

要点：標準管理委託契約書・業務範囲

Q028

2択

委託業務の範囲

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 管理委託契約では、委託業務の範囲を一切定めてはならない。
2. 管理委託契約では、委託する業務の範囲を明確に定めることが重要である。

答え・解説

正答：管理委託契約では、委託業務の範囲を一切定めてはならない。

解説：管理事務、管理員業務、清掃業務、建物設備管理業務など、契約範囲の明確化が紛争予防につながる。

要点：標準管理委託契約書・業務範囲

Q029

4択

委託業務の範囲

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。
- B. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。
- C. 管理委託契約では、委託する業務の範囲を明確に定めることが重要である。
- D. 管理委託契約は消防署と賃借人だけの契約である。

答え・解説

正答：C. 管理委託契約では、委託する業務の範囲を明確に定めることが重要である。

解説：管理事務、管理員業務、清掃業務、建物設備管理業務など、契約範囲の明確化が紛争予防につながる。

要点：標準管理委託契約書・業務範囲

Q030

4択

委託業務の範囲

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 管理委託契約では、委託業務の範囲を一切定めてはならない。
- B. 標準管理委託契約書の近年の改訂では、書面の電子化やIT総会・理事会への対応が重視されている。
- C. 漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。
- D. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。

答え・解説

正答：A. 管理委託契約では、委託業務の範囲を一切定めてはならない。

解説：管理事務、管理員業務、清掃業務、建物設備管理業務など、契約範囲の明確化が紛争予防につながる。

要点：標準管理委託契約書・業務範囲

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q031

○×

事務管理業務

次の記述は正しいか。
事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。

選択肢

○

×

答え・解説

正答：○

解説：事務管理業務の範囲と他の現場業務との区別が重要である。

要点：標準管理委託契約書・事務管理業務

Q032

○×

事務管理業務

次の記述は正しいか。
事務管理業務には、管理組合会計や出納は一切含まれない。

選択肢

○

×

答え・解説

正答：×

解説：事務管理業務の範囲と他の現場業務との区別が重要である。

要点：標準管理委託契約書・事務管理業務

Q033

2択

事務管理業務

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。
2. 事務管理業務には、管理組合会計や出納は一切含まれない。

答え・解説

正答：事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。

解説：事務管理業務の範囲と他の現場業務との区別が重要である。

要点：標準管理委託契約書・事務管理業務

Q034

4択

事務管理業務

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。
- B. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。
- C. 事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。
- D. 事務管理業務には、管理組合会計や出納は一切含まれない。

答え・解説

正答：C. 事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。

解説：事務管理業務の範囲と他の現場業務との区別が重要である。

要点：標準管理委託契約書・事務管理業務

Q035

4択

事務管理業務

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 事務管理業務には、管理組合会計や出納は一切含まれない。
- B. 漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。
- C. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。
- D. 管理会社は、受託した管理事務を善良な管理者の注意をもって処理することが求められる。

答え・解説

正答：A. 事務管理業務には、管理組合会計や出納は一切含まれない。

解説：事務管理業務の範囲と他の現場業務との区別が重要である。

要点：標準管理委託契約書・事務管理業務

Q036

☐ ×

事務管理業務

基礎確認：次の説明は適切か。
事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。

選択肢

☐ ×

答え・解説

正答：○

解説：事務管理業務の範囲と他の現場業務との区別が重要である。

要点：標準管理委託契約書・事務管理業務

Q037

☐ ×

事務管理業務

基礎確認：次の説明は適切か。
事務管理業務には、管理組合理会計や出納は一切含まれない。

選択肢

☐ ×

答え・解説

正答：×

解説：事務管理業務の範囲と他の現場業務との区別が重要である。

要点：標準管理委託契約書・事務管理業務

Q038

2択

事務管理業務

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。

2. 事務管理業務には、管理組合理会計や出納は一切含まれない。

答え・解説

正答：事務管理業務には、管理組合理会計や出納は一切含まれない。

解説：事務管理業務の範囲と他の現場業務との区別が重要である。

要点：標準管理委託契約書・事務管理業務

Q039

4択

事務管理業務

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

A. 管理委託契約は消防署と賃借人だけの契約である。

B. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。

C. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。

D. 事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。

答え・解説

正答：D. 事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。

解説：事務管理業務の範囲と他の現場業務との区別が重要である。

要点：標準管理委託契約書・事務管理業務

Q040

4択

事務管理業務

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

A. 事務管理業務には、管理組合理会計や出納は一切含まれない。

B. 管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理業者である。

C. 管理委託契約では、委託する業務の範囲を明確に定めることが重要である。

D. 漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。

答え・解説

正答：A. 事務管理業務には、管理組合理会計や出納は一切含まれない。

解説：事務管理業務の範囲と他の現場業務との区別が重要である。

要点：標準管理委託契約書・事務管理業務

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q041

○×

管理員業務

次の記述は正しいか。
管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○

解説：管理員業務は契約範囲で定まる現場業務であり、無制限の生活代行ではない。

要点：標準管理委託契約書・管理員業務

Q042

○×

管理員業務

次の記述は正しいか。
管理員は、契約範囲にかかわらず、区分所有者の私生活上の用事をすべて無償で行う義務を負う。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×

解説：管理員業務は契約範囲で定まる現場業務であり、無制限の生活代行ではない。

要点：標準管理委託契約書・管理員業務

Q043

2択

管理員業務

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。
2. 管理員は、契約範囲にかかわらず、区分所有者の私生活上の用事をすべて無償で行う義務を負う。

答え・解説

正答：管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。

解説：管理員業務は契約範囲で定まる現場業務であり、無制限の生活代行ではない。

要点：標準管理委託契約書・管理員業務

Q044

4択

管理員業務

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 管理員は、契約範囲にかかわらず、区分所有者の私生活上の用事をすべて無償で行う義務を負う。
- B. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。
- C. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。
- D. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。

答え・解説

正答：B. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。

解説：管理員業務は契約範囲で定まる現場業務であり、無制限の生活代行ではない。

要点：標準管理委託契約書・管理員業務

Q045

4択

管理員業務

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 管理員は、契約範囲にかかわらず、区分所有者の私生活上の用事をすべて無償で行う義務を負う。
- B. マンション標準管理委託契約書は、管理組合と管理会社が管理委託契約を締結する際の参考となる標準的な契約書である。
- C. 事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。
- D. 標準管理委託契約書の近年の改訂では、書面の電子化やIT総会・理事会への対応が重視されている。

答え・解説

正答：A. 管理員は、契約範囲にかかわらず、区分所有者の私生活上の用事をすべて無償で行う義務を負う。

解説：管理員業務は契約範囲で定まる現場業務であり、無制限の生活代行ではない。

要点：標準管理委託契約書・管理員業務

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q046

○×

管理員業務

基礎確認：次の説明は適切か。
管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○

解説：管理員業務は契約範囲で定まる現場業務であり、無制限の生活代行ではない。

要点：標準管理委託契約書・管理員業務

Q047

○×

管理員業務

基礎確認：次の説明は適切か。
管理員は、契約範囲にかかわらず、区分所有者の私生活上の用事をすべて無償で行う義務を負う。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×

解説：管理員業務は契約範囲で定まる現場業務であり、無制限の生活代行ではない。

要点：標準管理委託契約書・管理員業務

Q048

2択

管理員業務

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。
2. 管理員は、契約範囲にかかわらず、区分所有者の私生活上の用事をすべて無償で行う義務を負う。

答え・解説

正答：管理員は、契約範囲にかかわらず、区分所有者の私生活上の用事をすべて無償で行う義務を負う。

解説：管理員業務は契約範囲で定まる現場業務であり、無制限の生活代行ではない。

要点：標準管理委託契約書・管理員業務

Q049

4択

管理員業務

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。
- B. 管理委託契約は消防署と賃借人だけの契約である。
- C. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。
- D. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。

答え・解説

正答：A. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。

解説：管理員業務は契約範囲で定まる現場業務であり、無制限の生活代行ではない。

要点：標準管理委託契約書・管理員業務

Q050

4択

管理員業務

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 標準管理委託契約書の近年の改訂では、書面の電子化やIT総会・理事会への対応が重視されている。
- B. 漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。
- C. 管理会社は、受託した管理事務を善良な管理者の注意をもって処理することが求められる。
- D. 管理員は、契約範囲にかかわらず、区分所有者の私生活上の用事をすべて無償で行う義務を負う。

答え・解説

正答：D. 管理員は、契約範囲にかかわらず、区分所有者の私生活上の用事をすべて無償で行う義務を負う。

解説：管理員業務は契約範囲で定まる現場業務であり、無制限の生活代行ではない。

要点：標準管理委託契約書・管理員業務

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q051

○×

建物設備管理業務

次の記述は正しいか。
建物設備管理業務では、共用設備の点検、保守、法定点検への対応などが契約内容として問題となる。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○

解説：給排水、消防、電気、エレベーターなど共用設備の維持管理はマンション管理実務の中心である。

要点：標準管理委託契約書・建物設備管理業務

Q052

○×

建物設備管理業務

次の記述は正しいか。
建物設備管理業務は、建物や設備の点検・保守とは一切関係がない。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×

解説：給排水、消防、電気、エレベーターなど共用設備の維持管理はマンション管理実務の中心である。

要点：標準管理委託契約書・建物設備管理業務

Q053

2択

建物設備管理業務

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 建物設備管理業務は、建物や設備の点検・保守とは一切関係がない。
2. 建物設備管理業務では、共用設備の点検、保守、法定点検への対応などが契約内容として問題となる。

答え・解説

正答：建物設備管理業務では、共用設備の点検、保守、法定点検への対応などが契約内容として問題となる。

解説：給排水、消防、電気、エレベーターなど共用設備の維持管理はマンション管理実務の中心である。

要点：標準管理委託契約書・建物設備管理業務

Q054

4択

建物設備管理業務

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 建物設備管理業務は、建物や設備の点検・保守とは一切関係がない。
- B. 建物設備管理業務では、共用設備の点検、保守、法定点検への対応などが契約内容として問題となる。
- C. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。
- D. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。

答え・解説

正答：B. 建物設備管理業務では、共用設備の点検、保守、法定点検への対応などが契約内容として問題となる。

解説：給排水、消防、電気、エレベーターなど共用設備の維持管理はマンション管理実務の中心である。

要点：標準管理委託契約書・建物設備管理業務

Q055

4択

建物設備管理業務

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 建物設備管理業務は、建物や設備の点検・保守とは一切関係がない。
- B. 事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。
- C. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。
- D. 管理会社は、委託業務の処理状況について、契約や法令に基づき管理組合へ報告することが求められる。

答え・解説

正答：A. 建物設備管理業務は、建物や設備の点検・保守とは一切関係がない。

解説：給排水、消防、電気、エレベーターなど共用設備の維持管理はマンション管理実務の中心である。

要点：標準管理委託契約書・建物設備管理業務

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q056

☐ ×

建物設備管理業務

基礎確認：次の説明は適切か。
建物設備管理業務では、共用設備の点検、保守、法定点検への対応などが契約内容として問題となる。

選択肢

☐

×

答え・解説

正答：○

解説：給排水、消防、電気、エレベーターなど共用設備の維持管理はマンション管理実務の中心である。

要点：標準管理委託契約書・建物設備管理業務

Q057

☐ ×

建物設備管理業務

基礎確認：次の説明は適切か。
建物設備管理業務は、建物や設備の点検・保守とは一切関係がない。

選択肢

☐

×

答え・解説

正答：×

解説：給排水、消防、電気、エレベーターなど共用設備の維持管理はマンション管理実務の中心である。

要点：標準管理委託契約書・建物設備管理業務

Q058

2択

建物設備管理業務

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 建物設備管理業務では、共用設備の点検、保守、法定点検への対応などが契約内容として問題となる。
2. 建物設備管理業務は、建物や設備の点検・保守とは一切関係がない。

答え・解説

正答：建物設備管理業務は、建物や設備の点検・保守とは一切関係がない。

解説：給排水、消防、電気、エレベーターなど共用設備の維持管理はマンション管理実務の中心である。

要点：標準管理委託契約書・建物設備管理業務

Q059

4択

建物設備管理業務

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 建物設備管理業務では、共用設備の点検、保守、法定点検への対応などが契約内容として問題となる。
B. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。
C. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。
D. 管理委託契約は消防署と賃借人だけの契約である。

答え・解説

正答：A. 建物設備管理業務では、共用設備の点検、保守、法定点検への対応などが契約内容として問題となる。

解説：給排水、消防、電気、エレベーターなど共用設備の維持管理はマンション管理実務の中心である。

要点：標準管理委託契約書・建物設備管理業務

Q060

4択

建物設備管理業務

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。
B. 建物設備管理業務は、建物や設備の点検・保守とは一切関係がない。
C. マンション標準管理委託契約書は、管理組合と管理会社が管理委託契約を締結する際の参考となる標準的な契約書である。
D. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。

答え・解説

正答：B. 建物設備管理業務は、建物や設備の点検・保守とは一切関係がない。

解説：給排水、消防、電気、エレベーターなど共用設備の維持管理はマンション管理実務の中心である。

要点：標準管理委託契約書・建物設備管理業務

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q061

○×

報告義務

次の記述は正しいか。
管理会社は、委託業務の処理状況について、契約や法令に基づき管理組合へ報告することが求められる。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○

解説：管理組合が業務内容を把握し、委託の適否を判断するために報告が重要である。

要点：標準管理委託契約書・報告

Q062

○×

報告義務

次の記述は正しいか。
管理会社は、委託業務の処理状況を管理組合へ一切報告してはならない。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×

解説：管理組合が業務内容を把握し、委託の適否を判断するために報告が重要である。

要点：標準管理委託契約書・報告

Q063

2択

報告義務

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 管理会社は、委託業務の処理状況を管理組合へ一切報告してはならない。
2. 管理会社は、委託業務の処理状況について、契約や法令に基づき管理組合へ報告することが求められる。

答え・解説

正答：管理会社は、委託業務の処理状況について、契約や法令に基づき管理組合へ報告することが求められる。

解説：管理組合が業務内容を把握し、委託の適否を判断するために報告が重要である。

要点：標準管理委託契約書・報告

Q064

4択

報告義務

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。
- B. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。
- C. 管理会社は、委託業務の処理状況について、契約や法令に基づき管理組合へ報告することが求められる。
- D. 管理会社は、委託業務の処理状況を管理組合へ一切報告してはならない。

答え・解説

正答：C. 管理会社は、委託業務の処理状況について、契約や法令に基づき管理組合へ報告することが求められる。

解説：管理組合が業務内容を把握し、委託の適否を判断するために報告が重要である。

要点：標準管理委託契約書・報告

Q065

4択

報告義務

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 標準管理委託契約書の近年の改訂では、書面の電子化やIT総会・理事会への対応が重視されている。
- B. 管理会社は、委託業務の処理状況を管理組合へ一切報告してはならない。
- C. マンション標準管理委託契約書は、管理組合と管理会社が管理委託契約を締結する際の参考となる標準的な契約書である。
- D. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。

答え・解説

正答：B. 管理会社は、委託業務の処理状況を管理組合へ一切報告してはならない。

解説：管理組合が業務内容を把握し、委託の適否を判断するために報告が重要である。

要点：標準管理委託契約書・報告

Q066

○×

報告義務

基礎確認：次の説明は適切か。
管理会社は、委託業務の処理状況について、契約や法令に基づき管理組合へ報告することが求められる。

選択肢

○

×

答え・解説

正答：○
解説：管理組合が業務内容を把握し、委託の適否を判断するために報告が重要である。
要点：標準管理委託契約書・報告

Q067

○×

報告義務

基礎確認：次の説明は適切か。
管理会社は、委託業務の処理状況を管理組合へ一切報告してはならない。

選択肢

○

×

答え・解説

正答：×

解説：管理組合が業務内容を把握し、委託の適否を判断するために報告が重要である。
要点：標準管理委託契約書・報告

Q068

2択

報告義務

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 管理会社は、委託業務の処理状況について、契約や法令に基づき管理組合へ報告することが求められる。

2. 管理会社は、委託業務の処理状況を管理組合へ一切報告してはならない。

答え・解説

正答：管理会社は、委託業務の処理状況を管理組合へ一切報告してはならない。
解説：管理組合が業務内容を把握し、委託の適否を判断するために報告が重要である。
要点：標準管理委託契約書・報告

Q069

4択

報告義務

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

A. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。

B. 管理会社は、委託業務の処理状況について、契約や法令に基づき管理組合へ報告することが求められる。

C. 管理委託契約は消防署と賃借人だけの契約である。

D. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。

答え・解説

正答：B. 管理会社は、委託業務の処理状況について、契約や法令に基づき管理組合へ報告することが求められる。
解説：管理組合が業務内容を把握し、委託の適否を判断するために報告が重要である。
要点：標準管理委託契約書・報告

Q070

4択

報告義務

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

A. 管理委託契約では、委託する業務の範囲を明確に定めることが重要である。

B. 標準管理委託契約書の近年の改訂では、書面の電子化やIT総会・理事会への対応が重視されている。

C. 漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。

D. 管理会社は、委託業務の処理状況を管理組合へ一切報告してはならない。

答え・解説

正答：D. 管理会社は、委託業務の処理状況を管理組合へ一切報告してはならない。
解説：管理組合が業務内容を把握し、委託の適否を判断するために報告が重要である。
要点：標準管理委託契約書・報告

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q071

☐ ×

善管注意義務

次の記述は正しいか。
管理会社は、受託した管理事務を善良な管理者の注意をもって処理することが求められる。

選択肢

☐

×

答え・解説

正答：○

解説：管理委託契約も委任の性質を持つため、善管注意義務が基本となる。

要点：民法・標準管理委託契約

Q072

☐ ×

善管注意義務

次の記述は正しいか。
管理会社は、受託した管理事務を自己の私物管理より粗雑に扱っても常に責任を負わない。

選択肢

☐

×

答え・解説

正答：×

解説：管理委託契約も委任の性質を持つため、善管注意義務が基本となる。

要点：民法・標準管理委託契約

Q073

2択

善管注意義務

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 管理会社は、受託した管理事務を自己の私物管理より粗雑に扱っても常に責任を負わない。
2. 管理会社は、受託した管理事務を善良な管理者の注意をもって処理することが求められる。

答え・解説

正答：管理会社は、受託した管理事務を善良な管理者の注意をもって処理することが求められる。

解説：管理委託契約も委任の性質を持つため、善管注意義務が基本となる。

要点：民法・標準管理委託契約

Q074

4択

善管注意義務

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 管理会社は、受託した管理事務を自己の私物管理より粗雑に扱っても常に責任を負わない。
- B. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。
- C. 管理会社は、受託した管理事務を善良な管理者の注意をもって処理することが求められる。
- D. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。

答え・解説

正答：C. 管理会社は、受託した管理事務を善良な管理者の注意をもって処理することが求められる。

解説：管理委託契約も委任の性質を持つため、善管注意義務が基本となる。

要点：民法・標準管理委託契約

Q075

4択

善管注意義務

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。
- B. 管理会社は、受託した管理事務を自己の私物管理より粗雑に扱っても常に責任を負わない。
- C. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。
- D. 事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。

答え・解説

正答：B. 管理会社は、受託した管理事務を自己の私物管理より粗雑に扱っても常に責任を負わない。

解説：管理委託契約も委任の性質を持つため、善管注意義務が基本となる。

要点：民法・標準管理委託契約

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q076

○×

善管注意義務

基礎確認：次の説明は適切か。
管理会社は、受託した管理事務を善良な管理者の注意をもって処理することが求められる。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○

解説：管理委託契約も委任の性質を持つため、善管注意義務が基本となる。

要点：民法・標準管理委託契約

Q077

○×

善管注意義務

基礎確認：次の説明は適切か。
管理会社は、受託した管理事務を自己の私物管理より粗雑に扱っても常に責任を負わない。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×

解説：管理委託契約も委任の性質を持つため、善管注意義務が基本となる。

要点：民法・標準管理委託契約

Q078

2択

善管注意義務

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 管理会社は、受託した管理事務を自己の私物管理より粗雑に扱っても常に責任を負わない。
2. 管理会社は、受託した管理事務を善良な管理者の注意をもって処理することが求められる。

答え・解説

正答：管理会社は、受託した管理事務を自己の私物管理より粗雑に扱っても常に責任を負わない。

解説：管理委託契約も委任の性質を持つため、善管注意義務が基本となる。

要点：民法・標準管理委託契約

Q079

4択

善管注意義務

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 管理委託契約は消防署と賃借人だけの契約である。
- B. 管理会社は、受託した管理事務を善良な管理者の注意をもって処理することが求められる。
- C. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。
- D. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。

答え・解説

正答：B. 管理会社は、受託した管理事務を善良な管理者の注意をもって処理することが求められる。

解説：管理委託契約も委任の性質を持つため、善管注意義務が基本となる。

要点：民法・標準管理委託契約

Q080

4択

善管注意義務

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理者である。
- B. 事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。
- C. 管理会社は、委託業務の処理状況について、契約や法令に基づき管理組合へ報告することが求められる。
- D. 管理会社は、受託した管理事務を自己の私物管理より粗雑に扱っても常に責任を負わない。

答え・解説

正答：D. 管理会社は、受託した管理事務を自己の私物管理より粗雑に扱っても常に責任を負わない。

解説：管理委託契約も委任の性質を持つため、善管注意義務が基本となる。

要点：民法・標準管理委託契約

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q081

○×

緊急対応

次の記述は正しいか。
漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○

解説：緊急時は迅速対応が必要だが、契約上の権限・費用負担・報告手順が重要である。

要点：標準管理委託契約書・緊急対応

Q082

○×

緊急対応

次の記述は正しいか。
緊急対応では、契約範囲や費用負担を確認する必要は一切ない。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×

解説：緊急時は迅速対応が必要だが、契約上の権限・費用負担・報告手順が重要である。

要点：標準管理委託契約書・緊急対応

Q083

2択

緊急対応

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 緊急対応では、契約範囲や費用負担を確認する必要は一切ない。
2. 漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。

答え・解説

正答：漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。

解説：緊急時は迅速対応が必要だが、契約上の権限・費用負担・報告手順が重要である。

要点：標準管理委託契約書・緊急対応

Q084

4択

緊急対応

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。
- B. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。
- C. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。
- D. 緊急対応では、契約範囲や費用負担を確認する必要は一切ない。

答え・解説

正答：A. 漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。

解説：緊急時は迅速対応が必要だが、契約上の権限・費用負担・報告手順が重要である。

要点：標準管理委託契約書・緊急対応

Q085

4択

緊急対応

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理業者である。
- B. 緊急対応では、契約範囲や費用負担を確認する必要は一切ない。
- C. 事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。
- D. マンション標準管理委託契約書は、管理組合と管理会社が管理委託契約を締結する際の参考となる標準的な契約書である。

答え・解説

正答：B. 緊急対応では、契約範囲や費用負担を確認する必要は一切ない。

解説：緊急時は迅速対応が必要だが、契約上の権限・費用負担・報告手順が重要である。

要点：標準管理委託契約書・緊急対応

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q086

○×

緊急対応

基礎確認：次の説明は適切か。
漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○

解説：緊急時は迅速対応が必要だが、契約上の権限・費用負担・報告手順が重要である。

要点：標準管理委託契約書・緊急対応

Q087

○×

緊急対応

基礎確認：次の説明は適切か。
緊急対応では、契約範囲や費用負担を確認する必要は一切ない。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×

解説：緊急時は迅速対応が必要だが、契約上の権限・費用負担・報告手順が重要である。

要点：標準管理委託契約書・緊急対応

Q088

2択

緊急対応

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。
2. 緊急対応では、契約範囲や費用負担を確認する必要は一切ない。

答え・解説

正答：緊急対応では、契約範囲や費用負担を確認する必要は一切ない。

解説：緊急時は迅速対応が必要だが、契約上の権限・費用負担・報告手順が重要である。

要点：標準管理委託契約書・緊急対応

Q089

4択

緊急対応

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。
B. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。
C. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。
D. 管理委託契約は消防署と賃借人だけの契約である。

答え・解説

正答：A. 漏水や設備故障などの緊急対応は、契約範囲、連絡体制、費用負担を確認しておく必要がある。

解説：緊急時は迅速対応が必要だが、契約上の権限・費用負担・報告手順が重要である。

要点：標準管理委託契約書・緊急対応

Q090

4択

緊急対応

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 管理会社は、委託業務の処理状況について、契約や法令に基づき管理組合へ報告することが求められる。
B. 管理会社は、受託した管理事務を善良な管理者の注意をもって処理することが求められる。
C. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。
D. 緊急対応では、契約範囲や費用負担を確認する必要は一切ない。

答え・解説

正答：D. 緊急対応では、契約範囲や費用負担を確認する必要は一切ない。

解説：緊急時は迅速対応が必要だが、契約上の権限・費用負担・報告手順が重要である。

要点：標準管理委託契約書・緊急対応

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q091

○×

DX対応

次の記述は正しいか。
標準管理委託契約書の近年の改訂では、書面の電子化やIT総会・理事会への対応が重視されている。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○

解説：管理実務でも電子化・オンライン会議などへの対応が進んでいる。

要点：国土交通省・令和5年標準管理委託契約書改訂

Q092

○×

DX対応

次の記述は正しいか。
近年の標準管理委託契約書の改訂では、書面の電子化やIT総会への対応は一切扱われていない。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×

解説：管理実務でも電子化・オンライン会議などへの対応が進んでいる。

要点：国土交通省・令和5年標準管理委託契約書改訂

Q093

2択

DX対応

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 近年の標準管理委託契約書の改訂では、書面の電子化やIT総会への対応は一切扱われていない。
2. 標準管理委託契約書の近年の改訂では、書面の電子化やIT総会・理事会への対応が重視されている。

答え・解説

正答：標準管理委託契約書の近年の改訂では、書面の電子化やIT総会・理事会への対応が重視されている。

解説：管理実務でも電子化・オンライン会議などへの対応が進んでいる。

要点：国土交通省・令和5年標準管理委託契約書改訂

Q094

4択

DX対応

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。
- B. 標準管理委託契約書の近年の改訂では、書面の電子化やIT総会・理事会への対応が重視されている。
- C. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。
- D. 近年の標準管理委託契約書の改訂では、書面の電子化やIT総会への対応は一切扱われていない。

答え・解説

正答：B. 標準管理委託契約書の近年の改訂では、書面の電子化やIT総会・理事会への対応が重視されている。

解説：管理実務でも電子化・オンライン会議などへの対応が進んでいる。

要点：国土交通省・令和5年標準管理委託契約書改訂

Q095

4択

DX対応

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 管理委託契約では、委託する業務の範囲を明確に定めることが重要である。
- B. 事務管理業務には、管理組合の会計、出納、維持修繕の企画・実施の調整などが含まれる。
- C. 管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理業者である。
- D. 近年の標準管理委託契約書の改訂では、書面の電子化やIT総会への対応は一切扱われていない。

答え・解説

正答：D. 近年の標準管理委託契約書の改訂では、書面の電子化やIT総会への対応は一切扱われていない。

解説：管理実務でも電子化・オンライン会議などへの対応が進んでいる。

要点：国土交通省・令和5年標準管理委託契約書改訂

科目：標準管理委託契約書・管理実務 | 1ページ5問・左：問題／右：答えと解説

Q096

○×

DX対応

基礎確認：次の説明は適切か。
標準管理委託契約書の近年の改訂では、書面の電子化やIT総会・理事会への対応が重視されている。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○

解説：管理実務でも電子化・オンライン会議などへの対応が進んでいる。

要点：国土交通省・令和5年標準管理委託契約書改訂

Q097

○×

DX対応

基礎確認：次の説明は適切か。
近年の標準管理委託契約書の改訂では、書面の電子化やIT総会への対応は一切扱われていない。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×

解説：管理実務でも電子化・オンライン会議などへの対応が進んでいる。

要点：国土交通省・令和5年標準管理委託契約書改訂

Q098

2択

DX対応

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 標準管理委託契約書の近年の改訂では、書面の電子化やIT総会・理事会への対応が重視されている。
2. 近年の標準管理委託契約書の改訂では、書面の電子化やIT総会への対応は一切扱われていない。

答え・解説

正答：近年の標準管理委託契約書の改訂では、書面の電子化やIT総会への対応は一切扱われていない。

解説：管理実務でも電子化・オンライン会議などへの対応が進んでいる。

要点：国土交通省・令和5年標準管理委託契約書改訂

Q099

4択

DX対応

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 標準管理委託契約書の近年の改訂では、書面の電子化やIT総会・理事会への対応が重視されている。
- B. 契約範囲は定めてはならず、すべて口頭で処理する。
- C. 管理会社は管理組合へ一切報告してはならない。
- D. 管理委託契約は消防署と賃借人だけの契約である。

答え・解説

正答：A. 標準管理委託契約書の近年の改訂では、書面の電子化やIT総会・理事会への対応が重視されている。

解説：管理実務でも電子化・オンライン会議などへの対応が進んでいる。

要点：国土交通省・令和5年標準管理委託契約書改訂

Q100

4択

DX対応

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 近年の標準管理委託契約書の改訂では、書面の電子化やIT総会への対応は一切扱われていない。
- B. 管理員業務の内容は、受付、点検立会い、報告連絡など、契約で定めた範囲に従う。
- C. 管理委託契約の基本的な当事者は、管理組合とマンション管理業者である。
- D. マンション標準管理委託契約書は、管理組合と管理会社が管理委託契約を締結する際の参考となる標準的な契約書である。

答え・解説

正答：A. 近年の標準管理委託契約書の改訂では、書面の電子化やIT総会への対応は一切扱われていない。

解説：管理実務でも電子化・オンライン会議などへの対応が進んでいる。

要点：国土交通省・令和5年標準管理委託契約書改訂